

難病・在宅人工呼吸器使用者における

# 「災害に強い」難病地域支援ネットワークの構築

## 開催の趣旨

「大阪府北部地震」「平成30年7月豪雨」「台風」  
「平成30年北海道胆振東部地震」と本年は多くの災害を経験しています。

本セミナーでは、今夏の災害に学び、難病患者(在宅人工呼吸器使用者を含む)の災害・緊急時における難病地域支援ネットワークの構築と拡充をめざします。経験者や専門家による講演と意見交換、人工換気療法関連機器展示とデモンストレーションなど内容も充実しています。

平成30年12月8日(土)  
10:15~15:40

AP品川 9階

(品川駅西口より徒歩3分)

【対象】 在宅難病療養者支援に携わる  
医療、保健、福祉関連職、ならびに  
都道府県・市区町村等自治体職員

## プログラム

10:15-10:20 開会挨拶 研究代表者 小森 哲夫(国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター)  
10:20-10:30 ご挨拶 厚労省難病対策課

### <セッション1> 災害と地域支援ネットワーク

●座長：小森 哲夫(国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター) 小倉 朗子(東京都医学総合研究所)  
10:30-10:50 豪雨災害一起こったことと保健活動一 榎谷 優(倉敷市保健所)  
10:50-11:10 北海道胆振東部地震における体験から 水野 早矢香(札幌市保健福祉局保健所)  
11:10-11:30 災害対策本部と医療・介護連携 山村 修(福井大学)  
11:30-12:00 質疑・全体討論

### <昼食・ミニワークショップ> 災害時における在宅人工呼吸器使用者への支援対策

《12:00-13:20 昼食・休憩》

●座長：阿部 達哉(国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター)  
12:30-12:45 停電時における人工呼吸器等の電源確保と対策 滝口 尚子(国立病院機構仙台西多賀病院)  
12:45-13:00 安全な移送・搬送について 大竹 しのぶ(練馬区医師会訪問看護ステーション、都医学研協力研究員)

### <セッション2> 災害時における医療機関の役割

●座長：溝口 功一(国立病院機構静岡医療センター) 宮地 隆史(国立病院機構柳井医療センター)  
13:20-13:40 災害医療拠点病院・難病医療協力病院において生じた状況 鳥居 剛(国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター)  
13:40-14:00 日本神経学会が取り組む災害対策＝マニュアルとリエゾン＝ 中根 俊成(熊本大学)  
14:00-14:10 台風避難入院に関する沖縄での取り組み2018 諏訪園 秀吾(国立病院機構沖縄病院)  
14:10-14:30 難病患者の災害対策における医療機関の役割 溝口 功一(国立病院機構静岡医療センター)  
14:30-14:45 休憩(コーヒープレイク)  
14:45-15:30 全体討論・まとめ 指定発言 西澤 正豊(新潟大学脳研究所)  
15:30-15:40 閉会挨拶 研究代表者 小森 哲夫

### <機器展示・デモンストレーション> 12:00-15:30

協力：カフベンテック株式会社  
フィリップス・レスピロニクス合同会社